

# お取引先、関連団体と協力し、お客様に喜ばれ 社会に必要とされる企業をめざします

宝酒造は、社会の一員として消費者の皆様をはじめ、すべてのお取引先にも信頼され必要とされる企業でありたいと考えています。企業活動に関わりのある法律の知識を身につけ、法遵守を徹底するとともに、お取引先や関連団体と協力して、事業を活性化し社会に貢献できるよう取り組んでいます。

## お取引先とともに

### 公正な取引を行う

「TaKaRaグループ コンプライアンス行動指針」では、公正な企業活動について規定しています。具体的には「独占禁止法」や「不正競争防止法」を遵守し、公正で自由な企業間競争を行うことや、宣伝広告においては誇大な表現、他社を中傷する表現、社会差別につながる用語は使用しないこと、商品の表示について関係法令に従い消費者に誤認を与えるような表示をしないこと等を明記しています。特に守るべきことが多く存在する表示については、社内のデータベースで情報を共有し、関係部門で確認しています。

また、購買部門では「下請法」の外部講習会受講や社内勉強会の実施を通じて法遵守を徹底し、お取引先に対し良識と誠実さをもって接し、公平かつ公正な取引を行うことに努めています。「コンプライアンス行動指針」は定期的に研修を受けた各部署のコンプライアンス委員を通じて、全社員へ徹底しています。

### 情報の共有化をはかる

宝酒造では、営業活動を通じた通常の情報交換の他に、セミナーや講演会の開催を通じて、お取引先とのコミュニケーションを図っています。

例えば、2004年3月18日には中国・北京で「食のセミナー」を開催し、北京宝酒造醸造有限公司のスタッフが食品加工企業に対し商品の製造管理や酒類調味料の調理効果について講演を行いました。さらに2005年2月18日には、岡山で「お酒のチカラセミナー」を実施、講師をお招きしてお取引先や社員と一緒に食について学びました。

また、お取引先に製造工程を見学していただくなど、商品知識を深めていただくための勉強会も行っています。

### TaKaRaグループ コンプライアンス行動指針に、 公正な取引について以下の通り定めています。

#### ●独占禁止法の遵守

独占禁止法を遵守し、不当な取引制限や不公正な取引を行わず、公正で自由な企業間競争を行います。

#### ●不正競争の防止

不正競争防止法を遵守し、他社の商品と混同させるような表示を行わず、不当な手段による他社の営業秘密や企業秘密を取得・使用いたしません。

#### ●納入業者との適正取引、下請法の遵守

下請法を遵守し、納入業者とは公平かつ公正に取引します。

#### ●適切な接待・贈答

接待・贈答は、一般常識、社会的な常識の範囲内とします。また、国家公務員倫理法を遵守し、公務員またはこれに準ずるものに対する接待・贈答は行いません。

#### ●外国公務員への贈賄禁止

外国の政府や地方公共団体の役職員に対しては、ビジネス上の便宜の見返りとして、金銭などの供与、その約束・申し出もいたしません。

※TaKaRaグループ コンプライアンス行動指針「1.お客様の視点から 1.消費者・お得意先・パートナー・同業他社との関係」より関わる部分を要約



北京宝酒造醸造有限公司が主催した「第1回食のセミナー」



製造工程勉強会

## 地域や売場を活性化する

宝酒造では、お取引先のニーズにおこたえすることやお取引先と協力して何かを行うことで、どちらにもよい効果ができる“win-win”の関係をめざしています。

例えば、焼酎「ZIPANG」は、京都「木屋町ボトル」、各地の「桜ボトル」や「祭ボトル」など、地域の活性化やPRとしてご活用いただいています。「愛・地球博」でもオリジナルボトルを作成し、万博の活性化の一助となっています。

また、松竹梅「天」を対象商品に、陳列のボリュームや売場の演出方法を競う「大陳コンクール」を実施。お取引先と当社の担当セールスが丸となってよりよい売場をめざしてコンクールに挑戦し、小売店の活性化につながったという声もいただきました。今後もこのように“win-win”効果をさらに広められるよう取り組み続けていきます。



大陳コンクール入賞作品

## 関連団体とともに

### 容器リサイクルを推進する

容器リサイクルを推進するためには、業界全体で取り組まなくては解決できない問題がたくさんあります。宝酒造では、自社で容器リサイクルの推進に注力するだけでなく、各リサイクル業界団体にも積極的に参画し、効率的なリサイクルシステムの構築やリサイクル推進に向けた活動を展開しています。リサイクル団体では日頃は立場が違ったり、事業活動では競合しているメンバーが、容器リサイクルの推進という共通の目的を達成するために、定期的に会合を開催し積極的な議論を行っています。

また機関誌、ホームページ、展示会出展などを通じて幅広く、容器リサイクルの啓発活動を行っています。

### ■宝酒造が加入しているリサイクル団体

- ・(財)日本容器包装リサイクル協会
- ・アルミ缶リサイクル協会
- ・ガラスびんリサイクル促進協議会
- ・紙製容器包装リサイクル推進協議会
- ・PETボトルリサイクル推進協議会



ガラスびんリサイクル促進協議会 展示ブース

### 関連団体から



ガラスびんリサイクル促進協議会  
理事・事務局長 森 雅博 様

ガラスびんリサイクル促進協議会は、ガラスびん製造事業者、ガラスびん利用事業者、カレット商、びん商等のガラスびんリサイクルに関連する様々な事業者で構成されています。循環型社会形成推進基本法、容器包装リサイクル法に対応してガラスびんの3R(リデュース、リユース、リサイクル)を促進するため、会員相互の情報交換や連携を図りながら活動を行っています。

現在、容器包装リサイクル法が制定後10年を迎え見直しの検討が行われています。ガラスびんに

ついて、発生抑制の面から、容器としての機能を維持した上で軽量化を一層進めていくことが求められます。また、減少傾向にあるリターナブルびんの普及についても大きな課題です。リサイクルについては、製びん時のカレット利用率の向上と他用途利用の需要拡大を進めていく必要があります。

当協議会では、これからも宝酒造様をはじめ、会員の皆様方のお知恵とご協力をいただきながら、ガラスびんの3R促進のための活動を続けてまいります。